

メ ッ セ ー ジ

この度、「核なき世界」に向けて更なる世論喚起を目指し、「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会」結成五周年集会在開催されますことは、誠に意義深いものがあり、心から敬意を表します。

盛岡市は、市民共通の願いである、恒久平和の実現に向け、すべての国において核兵器の廃絶と軍縮が推進されることを強く願い、非核平和都市であることを宣言しております。また、世界各国の八千を超える都市で構成され、国境を越えて核兵器廃絶を求める「平和首長会議」にも加盟しております。

核兵器の恐ろしさや悲惨な戦争の教訓を風化させることなく、平和の尊さを次の世代に語り継ぎ、核兵器廃絶と平和な社会の実現に向けて、努力をし続けていくことこそ、私たちの責務であると考えております。今後も原爆写真パネル展や平和学習のために被爆地である広島市への中学生派遣などの取り組みを続けてまいります。

結びに、関係各位の今後の取組に御期待申し上げますとともに、本日御参会の皆様への御健勝を祈念いたしまして、メッセージいたします。

令和八年九月二十七日

盛岡市長 内 舘 茂

仲秋の候、御参会の皆様におかれましては、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

この度は、日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会結成5周年集会が開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

核なき世界の実現に向け、ご努力を続けておられることに深く敬意を表するとともに、日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会の御盛会と、御参会の皆様の御健勝と御多幸を心より御祈念申し上げます。

令和8年9月27日

日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会

代表 三田 健二郎 様

久慈市長

中平 均

日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会

代表 三田 健二郎 様

このたび、「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会」結成5周年集会が開催されますことをお慶び申し上げます。

核兵器のない世界と恒久平和の実現を願う貴会のこれまでのご活動に敬意を表します。核兵器による惨禍が再び繰り返されることのない社会の実現は、世界共通の願いであります。本集会のご盛会と貴会の今後ますますのご発展を祈念申し上げます。

令和8年9月10日

滝沢市長 武田 哲

「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会」結成5周年集会

へのメッセージ

「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会」結成5周年集会の開催、誠におめでとうございます。核兵器の無い世界を目指し、日々様々な活動に取り組んでおられる皆様に深い敬意を表します。

本年、国連本部で行われていた世界の核軍縮の方向性を議論するNPT（核不拡散条約）再検討会議が5月に閉幕し、2015年、2020年に続き今回も最終文書が採択されないまま閉幕したことを受け、戦争被爆国である日本の立場から、改めて核兵器の無い平和な世界の実現を訴えていかなければならないと考えております。

今、世界の様々な国や地域で、武力による侵略や紛争が生まれており、人々が望む世界の平和は不安定な状況にあります。そして、そのような状況下にあるからこそ、人々の平和を望む想いがこれまで以上に大きくなっていることを実感し、平和への意識を育む活動の重要性を改めて認識しております。

花巻市では、恒久平和の実現を目指し、平成18年3月に「非核平和都市宣言」を行い、広島市への小学生派遣を含む「非核平和学習会」等を継続して実施するとともに、非核平和への意識を育む取組を続けているところであり、このような活動が核兵器廃絶に向けた動きにつながることを期待しております。

結びに皆様の活動がますます発展し、貴会の活動目的が果たされることを心からご祈念いたしまして、メッセージといたします。

令和8年9月

花巻市長 小 原 勝

「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会」
結成5周年集会が、多くの方々のご参加のもと、盛会に開催され
ますことを、心よりお喜び申し上げますとともに、開催にあたり
ご尽力されました関係者の皆様に、深く敬意を表します。

この集会を通じ、核兵器のない世界の実現に向けた機運の醸
成が図られますことをご祈念申し上げます。

洋野町長 岡 本 正 善

「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会」結成5周年集会が、核兵器廃絶を望む多くの方々の参加のもと開催されますことに心からの賛同と敬意を表します。

人類史上初の核爆弾投下から81年を迎えました。

近年の国際社会は、核保有国によった力の支配により、「核なき世界」から逆行して核兵器使用リスクが高まる中、不安定さを増す国際情勢を理由に「核抑止」が必要不可欠だと主張し核戦力を強化する国、そして日本のようにその「核の傘」のもとにある国があります。

核兵器の廃絶は一国だけで実現できるものではなく、国と地域、そして世界が対話と協力を重ねてこそ現実味を帯びてくるものであり、唯一の戦争被爆国である日本政府が果たすべき役割は大きく、そして重要なものです。

この集会を契機として、核廃絶の理解が深められると共に、「核も戦争もない社会」の実現へ向けたさらなる一步を踏み出せることを切に願っております。

結びになりますが、本集会が開催目的を達成され、盛会のうちに終了できますことを心からお祈り申し上げます。

令和8年9月27日

矢巾町長 高橋 昌造

【「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会」
賛同メッセージ】

「日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める岩手県民の会」結成5周年集会がここに開催されますことを心からお祝い申し上げますとともに、核兵器の禁止と恒久平和の実現に向け、日頃献身的に取り組を進められている皆様方の活動に対し、心から敬意を表します。

核兵器禁止条約が2021年に発効されたにも関わらず、一部の国が「国の安全保障のため」と主張し保有する核兵器の脅威は、未だに人類の平和を脅かし続けています。とりわけ、終わりのなき泥沼化を見せるロシアによるウクライナ侵攻や、依然として緊迫が続く中東情勢など、国際社会において核兵器使用のリスクがかつてないほど現実味を帯びています。また、こうした緊張感の高まりを受け、国内でも安全保障政策や「非核三原則」の堅持をめぐる議論が激しさを増しており、国としての平和への姿勢が今まさに厳しく問われている局面です。

我が国は唯一の被爆国であり、皆様の取り組みが、世界の先導役となりながら、「核兵器廃絶」に向けた大きな力となることは、いうまでもありません。

この結成5周年集会を契機に、真に平和を願う人々の思いが結集し、「核兵器のない世界の平和と安全」へ一歩でも近づけることができるよう祈念するとともに、本集会の成功と今後の皆様方のご活躍をご期待申し上げ、メッセージといたします。

令和8年9月27日

平泉町長 青 木 幸 保